

令和5年度 川崎市学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果の概要と今後の取組について

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

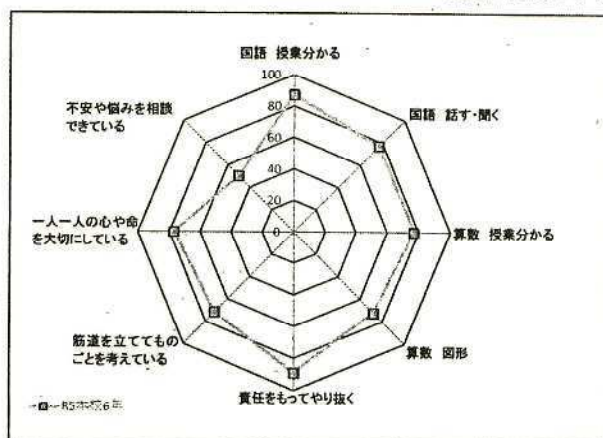
さて、4月14日(金)4・5・6年生対象の「川崎市学習状況調査」の結果と、4月18日(火)6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果をご報告します。

本校では学校教育目標「根 粘り強く取り組む・智 正しいことに即して行動する・和 協調して物事に取り組む」を踏まえ、日々の教育活動を展開しております。この報告書をもとに、学校、保護者、地域がこれまで取り組んできた活動を見直すとともにさらなる教育活動の充実をめざしていけるよう取り組んでまいります。

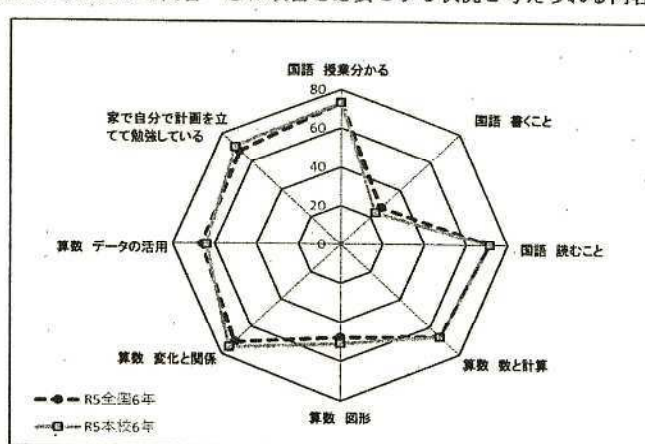
なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。

【 第 6 学 年 】

○概ね満足できる状況と考えられる内容 ●は改善を必要とする状況と考えられる内容



川崎市学習状況調査



全国学力・学習状況調査

【国 語】

○「話すこと聞くこと」の領域や「話し合い教えあいをしている」ではよい状況にあると捉えております。ペアや小集団の場面を設けることや相手意識や聞く視点を示すなど授業展開の工夫をしていることの成果が出ていると考えられます。

●「書くこと」については、課題があると捉えております。「筋道を立ててものごとを考えている」とことと関連があると考えられます。つなぎ言葉を使って考えの流れを整理することや、根拠を明らかにして考えることを丁寧に指導していくことを大切にします。書くことに対して苦手意識のある児童もいます。書いたものが生活の中で生かされたり感想が返ってきたりするような場面を設定し、「書いてよかった」という充実感を味わう体験も大切であると考えております。

【算 数】

○「授業がわかる」は、肯定的な回答の割合が多く良い状況にあります。授業の中で丁寧な見取りと指導を心がけてきた成果と考えます。引き続き取り組み、理解の向上につなげたいと考えます。

●図形では、三角形の意味や性質などで課題がありました。図形の観察や操作を通して、図形の意味や性質を考えられるようにすることや、図形の意味や性質を利用して面積などを比べることができるよう指導していきます。

【意識調査】

●「不安、悩みがあるとき相談できている」については、安心できる環境づくりとともに発信の力を伸ばすことが大切と考えます。共生*共育プログラムでのSOS発信の学習や、アンケート実施による実態の把握などにも取り組み、児童が抱えている問題や困り感について子どもに寄り添い思いがくみ取れるよう努めていきます。高学年になると自分の気持ちをあまり表出しなくなる傾向があります。家庭でも、悩みや不安を打ち明けなくなるような関係を築いていくために普段からお子さんの様子をよく観察し、子どもの変化に気づくことが大切です。また、どんなに忙しい時でもお子さん話は聞いてあげてください。

【 第5学年 】

○概ね満足できる状況と考えられる内容 ●は改善を必要とする状況と考えられる内容

【国 語】

- 「授業がわかる」については、肯定的な回答をしている児童の割合が多い状況にあると考えられます。丁寧な指導や取り組みが学習に対する自信につながっていると考えられます。

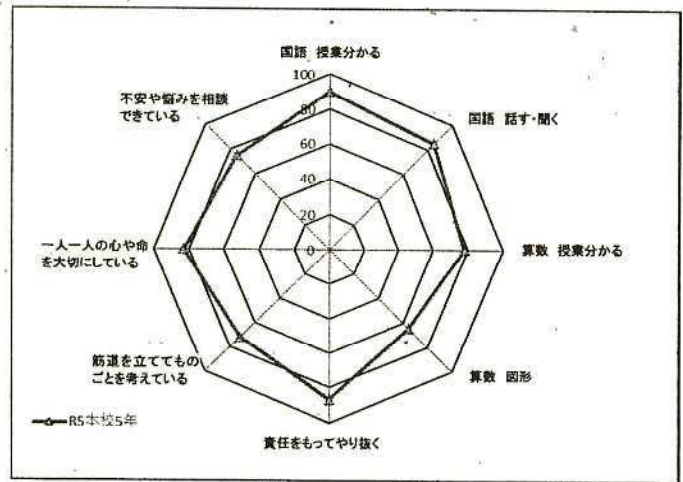
【算 数】

- 「授業がわかる」は良い状況にあります。今後も「関わり合いを通して自分の考えを深める子の育成」を校内研究で継続していくとともに「分かる楽しい授業」取り組んでまいります。

- 図形の構成要素に着目し、各図形の特徴を深めていくことが大事です。図形を弁別したり作図したりする活動を丁寧に行い、図形の特徴について実感を伴って理解できるようにしてきます。立体についても観察したり構成したり、分解したりする活動を大切にしていきたいと思います。

【意識調査】

- 「責任をもってやりぬく」はよい状況が見られます。役割をもち集団の一員としての自覚をもって取り組んでいる成果が出ていると考えます。
- 日頃から児童一人一人をよく見て「児童理解」を深めるとともに、児童に寄り添った関わりをすることで、安心できる関係づくりをしていきます。また、児童の変化に気づき気持ちに寄り添うことで話しやすい雰囲気もつくっていきます。家庭でも日頃からお子さんと話しやすい雰囲気をつくり、話を聞くことを大切にしてください。その上で、お子さんの不安や悩みを聞いた際には、家庭と学校で共有しながら支援について考えていきたいと思います。



川崎市学習状況調査

【 第4学年 】

○概ね満足できる状況と考えられる内容 ●は改善を必要とする状況と考えられる内容

【国 語】

- 「話すこと・聞くこと」では、話を聞く際には常に相手を意識しながら聞き、相手がどのような考えをもっているのか聞き取れる力を身に付けられるよう、今後も授業では少人数での話し合いやグループ発表の場を大切にしていきます。

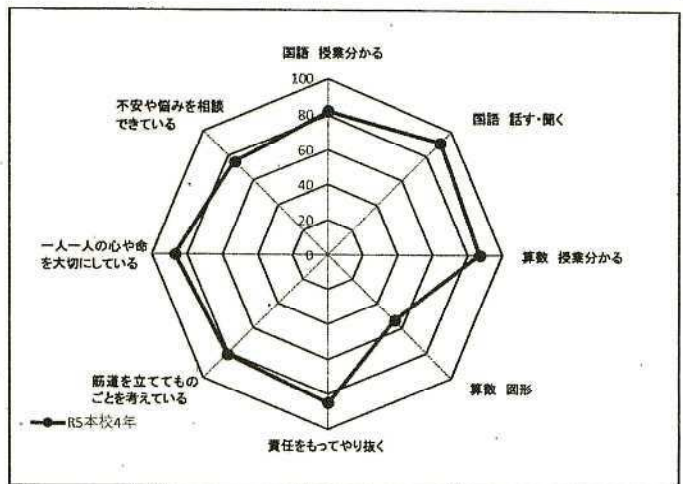
【算 数】

- 子どもたちの気づきや考え、表現を大切にしながら授業に取り組んでいます。友達の考えとの相違点を見つけ、協力して問題解決していく活動を重視していきます。家庭でも結果だけではなく、頑張ってやり遂げたことや、努力して学習の結果につながったことは話題に取り上げ、認めてあげるようにしてください。

- 念頭で図形の構成要素を考えることができるようになるためにも操作活動を充実させ、構成要素に着目する授業展開を行い、意味や性質などを児童とともに見出していくように努めていきます。平面図形や立体図形を生活の中で見つけることや、図形を使える場面がもてるような機会をお願いいたします。

【意識調査】

- 「責任をもってやり抜く」など、よい状況にあります。引き続き自分の役割に責任をもち、最後まで前向きに取り組めるような活動を設定し、児童が集団の一員としての自覚をもち互いを尊重し合って協力する姿勢を育てていきたいと考えています。家庭でも子どもが自分の考えをしっかりと持つ場や粘り強く取り組める機会がつかれるようご協力よろしくをお願いいたします。
- 児童の悩みや不安については家庭と学校で連携して対応していくことが大切です。家庭でも日頃からお子さんと話を聞くことを大切にいただけたらと思います。



川崎市学習状況調査